

むっ みんな つう しん 夢民通信

平成 20 年 3 月 17 日発行

夢民通信 第 2 号

～ 『夢民通信』第2号 お届けします ～

年が明けてからあっという間に雪が降り積もり、冷え込みも一段と厳しく、今年の冬はいつもより長く続くのだろうか…と思っていたら、3月に入って一気に雪解けがすすみました。春の訪れは確実に、もうすぐそこまでやってきていることを実感している今日この頃です。

前回、ようやく皆様のお手元にお届けすることができました広報誌『夢民通信』の第2号を発行いたします。今号ではこの間で開催しました研修や、石狩管内地域の社会資源訪問を通じて知り得た各地の取り組みなどの情報を掲載しました。ご一読いただけましたら幸いです。

障がいがある方に対して地域で支える街づくりが必要だと議論が重ねられ、いよいよ本格的に「住み慣れた街（地元）で生活を支える支援づくり」を具体的に、どう展開していくかが求められていることを痛感しています。支援が必要とする方に対して、どんなニーズがあり、どんな手立てが必要かということを中心にしながら、それぞれの地元で活躍する皆さん、地域の皆さんと共に作る、考える機会を、私たちも一緒に考えて形にしていきたいと考えています。

支援センター夢民では、今後ともこの『夢民通信』を通じて、石狩管内地域をはじめとしたさまざまな地域での取り組みや、社会資源、地域の情報を集めて皆さんのお手元に届けていきたいと考えております。私たちがまだまだ知らない、でも“キラリ”と光る地域での活動はたくさんあります。そんな情報や、取り上げて欲しい話題などがありましたら、引き続き、ぜひ情報をお寄せ下さい。

今後とも、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

石狩圏域障がい者総合相談支援センター夢民
センター長 池田 智絵

石狩圏域内の社会資源紹介

今回の社会資源紹介は、管内にある児童デイサービスの事業所「ぱれっと」さんを紹介します。



児童デイサービス ぱれっと



児童デイサービス「ぱれっと」とは

市内の親の会さんと一緒に準備を重ね、昨年11月小学校内のカルチャーセンターを利用し、開所したばかりの新しい児童デイサービスです。発達障がいなど、様々な困り感を持つお子さんに対し、その子の特性に応じ、将来の“就労”や“地域社会での自立した生活”を意識した支援を行っています。



活動内容

《サービス内容》

- ・ 身辺処理
- ・ あそび（休憩）
- ・ おやつ
- ・ 作業活動
- ・ 自立課題
- ・ 個別課題
- ・ 小集団活動

※ 内容は、お子さんによって異なります。
あそびや、おやつの時間にもコミュニケーションの学習などが取り入れられています。

《1日の流れ》

1日3グループ（各3～4名）が、それぞれ1時間半、スケジュールに沿って活動します。

午前 幼児グループ

午後① 小学生グループ

午後② 小学生 又は 中高生グループ

※ 曜日による

見学に行ってみて…

活動教室の中は、必要に応じてついたりたたりがあり、何の活動をする場所かが分かりやすく、集中できるようになっていました。お子さんの“苦手を助ける道具”（カードやスケジュールなど）もたくさんありました。それらは、丁寧なアセスメントにより、1人1人の“得意”に合わせて作られているそうです。カードの厚みや貼る高さを変えることでより分かりやすくなる方もいるそうです。そういう気付きが、お子さんの生活しやすさに繋がるんですね。

お話から、近隣市町村から通ってきている方がいることや、学齢児の場合、待機者がいることも聞き、改めて就学児に対して療育を行う場を求める親御さんが多いということを感じました。

学校のカルチャーセンターを利用していること、親御さんと一緒になって作り上げてきていること、“将来に向けて一貫した支援を目指す”ということころなど、とても勉強になりました。

お忙しいところ、見学に快く応じて下さったスタッフの皆さん、ありがとうございました。



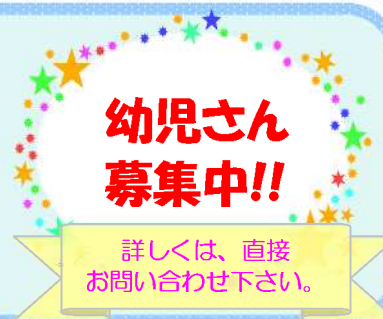
社会福祉法人はるにれの里 児童デイサービス ぱれっと

住所；石狩市花川北3条3丁目1 石狩市紅葉山小学校内

電話；0133-77-6525 FAX；0133-77-6525

開所時間；月～金曜 9:00～18:30 土曜 9:00～17:00

※ 月曜は家庭訪問などのため、児童デイサービスはお休みです



幼児さん
募集中!!

詳しくは、直接
お問い合わせ下さい。



スキルアップ研修報告

石狩圏域内の市町村障がい支援窓口担当者、障がい者相談支援従事者、保健師などを対象として、『平成 19 年度石狩圏域障がい者相談支援スキルアップ研修』を開催しました。

研修概要



日時；平成 20 年 2 月 22 日（金）13:30～17:30

場所；北広島市芸術文化ホール 活動室 1、2

講師；日本福祉大学社会福祉学部教授 野中 猛 氏

* 平成 19 年度 特別アドバイザー派遣事業

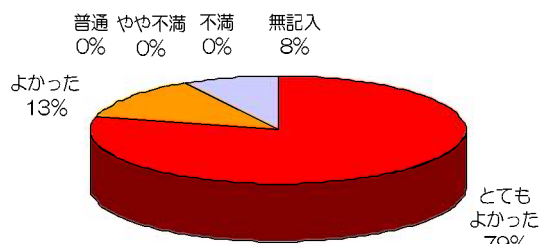
特別アドバイザーとして、日本福祉大学の野中猛先生をお招きし、事例検討を中心とした研修を行い、当日は 50 名定員のところ、43 名の参加下がありました。

研修は、先生が『ケアマネジメントのどこを難しいと感じているか』、『日頃困っていること』などを参加している方々に聞き、それに対して答えていくという形で始まり、事例検討会へと進んでいきました。その中でケアマネジメントのポイントや考え方なども、テンポよく、例を挙げて、分かりやすくお話をされました。先生独特の例えや表現など、おもしろさの中にも、自分の日々の関わりを振り返って、ハッとさせられるようなところがあり、とても勉強になりました。



特に、後述のアンケート結果でもキーワードとして多くの方から挙げられていた『アセスメントは具体的に（5W1H）』という話は、日頃いかに曖昧な表現を使っているか、ということに気付かされました。

スキルアップ研修の評価（アンケートより）



研修アンケートでは、24 名の方から、意見や感想をたくさんいただきました。研修の評価について、“とてもよかった”、“よかった”と答えて下さった方が殆どでした。そして、『また頑張ろうと思った』『元気になれました』という感想をいただき、研修を企画開催できてよかったなと思いました。

印象に残ったキーワードとして挙げていただいた『アセスメントは具体的に』『本気で聞けば、本気で答えてくれる』『支援者の生活体験を知り、活用する』『困難事例が感動事例になる』など、日々の振り返りや、今後の支援に活かせる視点がたくさんあったのではないかと思います。今回研修で得たことが、障がいのある方へのよりよい支援に結びき、支援者の元気の素になるといいのではないかと感じました。

お知らせ・ご案内

「地域でくらす」小樽フォーラム

日時 平成20年3月29日(土) 10:00~16:30
会場 小樽市民センター マリンホール 定員 400名
日程

<午前>

- ・ビデオフォーラム (地域生活のいろいろなビデオをみます)

<午後(13:30~)>

- ・基調講演 地域生活のススメ ~長野県西駒郷の取組みから~
講師 西駒郷地域生活支援センター 所長 山田 優さん
講師 大阪府立大学人間社会学部 准教授 三田 優子さん
- ・報告 北海道地域生活移行システム検討会からの報告 北海道
- ・討論会 「当事者が語る わたしたちのちいきせいかつ」
- ・意見交換 講師・討論者と会場の皆さんで

参加費 無料 ※ 昼食は各自でお願いします。

地域(ちいき)ってなに?



<申し込み先>

松泉学院 TEL: 0134-62-2510 FAX: 0134-62-6848
e-mail: shosen@ryokkakai.or.jp

締め切りは3月24日

※ 詳しくは、申し込み先までお問い合わせ下さい。

編集後記

かなりぎりぎりになってしまいましたが、何とか年度内に第2号を発行することができました。発行に際しご協力下さった皆様、ありがとうございました。
ご一読だけでも幸いです。

《発信元》

石狩圏域障がい者総合相談支援センター夢民

〒061-1276

北海道北広島市大曲緑ヶ丘1丁目9-1

Tel: 011-377-6200 Fax: 011-377-7007

e-mail: ishi-ken@workerbee.biz

ホームページ: <http://www.msknet.ne.jp/ishikarikeniki/>

